

第2回かぜくも教室を 開催しました！



8月29日（木）に「子どもにかかわる話しかけ（指示）の仕方」をテーマに、本校の教育支援アドバイザー鈴木貞安氏を講師に迎え、第2回かぜくも教室が行われました。

子どもの好ましい行動・好ましくない行動・許しがたい行動などについては、よく子どもの行動を観察し、かかわることが大事であるというお話がありました。また、褒められたり認められたりするといった注目は、子どもの自己有能感を高め望ましい行動を増やすことになるため、例えば、全部できたことを褒めるのではなく、少しできたところから認めてあげることなどが大切だと言うお話がありました。その際の話しかけの仕方や指示の出し方などについても、例をあげながら説明していただきました。

とても分かりやすくお話していただき、今後の子どもたちとの関わりを考える有意義な時間となりました。



普段何気にやっていた言動が間違っていたことを反省し、解決策を見つけることができました。いつも子どもに対して健常児と比較している自分が心のどこかにいたような気がします。これからは、子どもの立場にたって考えていこうと思います。



実際にどのように行動したら良いのか、お話が具体的でわかりやすかったです。気持ちに疲れているので、気持ちの良い時間でした。

指示が通らず、いらいらしてしまうことが多いので、人格を否定しないように気を付け、穏やかに指示を出してあげようと思う。

鈴木先生のご説明がとてもわかりやすかったです。先生の口調や表情がとても穏やかだったのが関係していると思いました。わが子にもゆったりとした気持ちで向き合ってみようと思います。

子どもの話しかけ方（視線・声の大きさ・表情・言い方など）を学ぶことができた。ついつい叱ってしまうことが多く結果ばかりをみている部分があったと反省。しようとした時や、している時なども、たくさん褒めてあげようと思う。